

# 小雨のち曇り、それでもよかった！

## —— 憲法フェスティバル、800人が平和の想いを交流 ——

5月3日水戸市千波公園はなみずき広場で開かれた憲法フェスティバルは午前の雨にもかかわらず県内各地から約800名の参加、戦争体験を語るコーナー、若者を中心にした「しゃべり場」、各種の模擬店そしてメイン舞台などの多彩な催しで雰囲気盛り上げた。

### 旧交を温めた憲法フェスティバル

取手平和の会 谷口 誠一

雨滴は水戸桜川に波紋を無数に描いていました。黒白鳥や鴨が足もとまで近づいてきます。「無防備な、否、人間を恐れない鳥たちをたたき殺してしまうなんて」憤慨しながら堤防を歩きました。テントは準備万端。早速昼メシを確保すべく、おこわと混ぜご飯を購入。青年のテントでトークが始まりました。雨が上がらないし、元青年の私も参加を決意。高校生も3人参加し「仕事の生きがい」がテーマ。あこがれの青年弁護士と高校生を中心にトーク盛り上がり始めたら、高校生ジャズバンドがおなじみのスイングジャズを。心も体もスイング。五霞町の住職が憲法法話。無殺生のユーモア（血を吸った蚊も逃がしてやれ！など）を交えた仏法の話は、「交戦権を否定した九条を世界に！」の説法に移り、笑いのうちにうなずきの波が会場を埋め尽くしました。「お久しぶり」の声をかけ合い、旧交を温める姿もあちこちで、私もその一人。老若男女のギャクが少ないが、憲法フェスタの名にふさわしく、お酒も入り、饒舌になった自分が心地よく、晴れてきた大空と

舞台と友人を見比べながら、ホッとする己を見つけました。



元気な高校生ジャズ演奏

### 多彩な催しに感激

九条の会ゆうき代表代行 富永 融

5月3日61歳を迎えた日本国憲法を記念する日、結城市職員組合の方の運転する車で水戸市千波公園はなみずき広場で開催される2008年「憲法フェスティバル」に向かった。当日、早朝は雨、野外で行われる行事なので参加を渋る人もいるかと心配したが、十時半に着いた時はテント企画の出し物の準備は終わり多くの人で賑わっていた。各地の平和委員会、九条の会、婦人団体、地域を守る運動の会の人など、テントを張って色々な企画を準備していた。平和憲法を守ろうとする人々の意気込みがひしひしと伝わってくる。私は「戦争体験をきく」集いに腰を下ろした。現在93歳のご婦人が特攻隊で出撃する若い兵士の母親代わりの仕事をしたときのお話、満蒙開拓義勇軍に参加された方のお話、何れも国家が若い命を湯水の如く犠牲にしていったお話である。戦争とはどんな理由をつけたとしてもこうした傾向は避けられない。そして、お国の為と美辞を弄して戦争に駆り出した教育の恐ろしさを今更のよう

に思い知らされた。午後はブルーソニックジャズオーケストラ、ヒューマンファーマーズ、茨城のうたごえ合唱団の演奏を聞き心を弾ませた後、浄土宗の



戦争体験を語る吉野さん

ご住職大谷隆照さんの「けんぼう法話」を聞いた。ご住職はお釈迦様の教えの一番目が「汝殺すことなかれ」という平和主義であることを強調されておられた。二時から「はだかの王様」のコントライブを楽しく聞き、最後に全員合唱をして、楽しく有意義な一日を終わった。企画された方々と結城市職の方に心から感謝の意を表したい。

## 自衛隊の海外派兵は許さない！ 08年度県大会を成功させよう！

本格的な改憲阻止のたたかいはこれからが本番です。自衛隊派兵の「恒久法」阻止・軍事費削減・日米共同軍事訓練反対など平和憲法を活かす運動が生活要求と合わせて求められています。県大会を成功させ茨城の地から平和のたたかいを発信させましょう。

### 茨城県平和委員会 08年度大会

- 5月24日（土）受付9時半、開会10時から
- 県青少年会館一階大会議室
- 議題 ①07年度活動のまとめ ②08年度活動方針  
③07年度決算 ④08年度予算 ⑤監査報告  
⑥08年度役員選出
- 昼食は用意します。

各平和委員会は代議員を選出し、必ず出席をお願いします。尚、昨年の活動日誌は、①月日、②行事項目③活動内容規模、④参加人員などのを箇条書きで5月20日までをお願いします。

## 平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

No.501

月3回発行

2008.5.10

(5/5・15合併号)



# 大好評の「しわあわせすいとん」完売

東海村平和委員会 加藤 岑生

東海村平和委員会は昨年の経験を生かして今年もすいとんを販売しました。

雨が激しく降る中、軽トラックに準備品を積み、7時に東海出発、この天気では参加者が少なく完売できないのではと心配しながら会場へ。会場ではテントの設営中、雨の降りが激しく、車の中でしばらく雨宿り、8時過ぎに雨の中準備をはじめた。まず男性の組がテント内にカマドを用意し、45リットルの水で鶏がらを煮出しスープをとりはじめました。この水45リットルが大失敗。お湯が沸くまでに時間がかかってしまいました。9時30分にはご婦人たちも参加し、にぎやかに具材を次々に入れたところ、鍋があふれてしまった。「あー」、丁寧にあくをすくいとり、その後味付け。用意した醤油2リットル、45リットルの水が災いし、少々足りない。塩を加えたが薄味のスープになってしまいました。11時半販売元気な呼び込みの声で開始、次々にお客さんが訪れ、店の中は大忙し、「大盛り過ぎるよ！」の声に「ケチケチするねー、今日はお祭だー」、店の前には行列が出来、今日は寒いから、体温まるものがほしいからねと、美味しいからだよと。12時過ぎには完売、しかし、その後、「もう、無いのですか」と来る人が10数人もありました。決して黒字では無かったけれど、来年も参加したいと。疲れた一日でした。ご苦労様でした。



大好評のすいとん、行列が出来た

## <土浦地域>

### 5・3憲法を考える市民のつどい

午後1時半から土浦市木田余のワークヒルで70名が参加して開かれました。はじめにコカリナ演奏、主催者代表小笠原徹さんの挨拶、つづいて佐藤光雄さん（日本平和委員会代表理事）の「9条は平和のかなめ・ストップ海外派兵恒久法・輝かせよう憲法」と題した講演を熱心に聞きました。メリハリがあり、簡潔明瞭、わかり易かった話は好評を博しました。休憩をはさんで「憲法思いっきりしゃべり場」・高校生の発言・フリートーク、そして最後に佐藤けい子さんとみんなで合唱。充実した5月3日が終わりました。



## 水戸西部市民「九条の会」 3周年の集い

とき：2008年5月25日（日）14：00～16：30  
ばしょ：水戸市堀町公民館  
どなたでも参加できます（資料代300円）  
講演：「沖縄戦を生き残ったぼくの仕事」  
講師：外間喜明氏（さがみはら九条の会）

「日本国内で唯一戦場となった沖縄。1945年、0歳で沖縄戦にまきこまれた外間さんは、母に守られて奇跡的に生き延びました。沖縄戦で犠牲になったもの言えぬ人たちに代わり、いのちの尊さ、戦争の非常さを語継いでいます。そのメッセージは私たちの胸に深く届くことでしょう。」

水戸西部市民「九条の会」  
連絡先 水戸市双葉台1-24-7（須田）  
Tel/Fax252-6504  
または、eメールn.osone@nifty.com(大曾根)

## <竜ヶ崎地域>

### 5・3憲法と年金・医療制度を考える集い

午前中、小雨降るなか2台の宣伝カーで流し宣伝。途中6ヶ所でマイク宣伝。佐貫駅前では強い雨でしたが力強く訴えました。

午後1時半から、上町の「まいん」で年金者組合県本部委員長近沢重男さんの「憲法から見た年金・医療制度のいま」と題した講話と話し合いが行われました。主催は憲法を考える竜ヶ崎市民の会で40名が参加し大変ためになった1日でした。

.....

### 第15回 百里平和農園「いぜ、田植え」の参加しよう!

いま、50メートル先で茨城空港の滑走路建設が突貫工事で進められている平和農園には「静かで平和なくらしには基地も民間空港もいらぬ」の大看板が基地に向かって建てられています。先日5月4日にはTBSテレビがこの平和農園で百里平和委員会会長宮沢昭さんにインタビューしました。

ぜひ、軍民共用化は基地強化そのもの。現地視察も合わせて楽しい田植えにお誘い合わせご参加ください。

とき：5月17日（土）10時から  
ところ：小美玉市小川町・百里平和農園  
ひよう：年齢X100円（上限1000円）  
めだま：作業前に、お米の講習会、みんなで語る交流会  
主催：一緒に作ろう！「日本の米」実行委員会  
連絡先：029-292-8732（農民連）

**事務局便り**

「目」青葉山ほととぎす初鯉の候。この句は季節の変化の機微を捉えたものです。

さて、さて人心の機微はと言つと国民の支持率低下に苦しむ福田首相はK・Yに苦しむと？空気が読めぬと思いきや後期高齢者医療制度(K)と山ロー区衆議院補欠選挙(Y)結果のこと。否、今日(K)にもやめろ(Y)では無いでしょうか。そして国民の信を問えと。(加)